

世界に冠たる名門劇場が、迫力のオペラを上演!

キエフ・オペラ

～ウクライナ国立歌劇場オペラ～

タラス・シェフチェンコ記念

「勝ちて帰れ!」

スエズ運河開通を祝し、カイロで初演された傑作オペラ

古代エジプトを舞台に、大合唱と凱旋行進曲が響き渡る! 勝利の栄光に輝く将軍ラダメスと、敵国の囚われた王女アイーダの永遠の愛。

勇壮なメロディーが、喝采と苦悩を巻き起こす!

アイーダ

全4幕

G.ヴェルディ作曲

イタリア語上演/日本語字幕付き

管弦楽:ウクライナ国立歌劇場管弦楽団

合唱:ウクライナ国立歌劇場合唱団

バレエ:ウクライナ国立歌劇場バレエ(キエフ・バレエ)

指揮:ヴォロディミール・コジュハル(首席)他

5/29 (土) AM10:00~ 発売開始!

2010 10/25 (月) PM6:30開演 愛知県芸術劇場大ホール

主催:中京テレビ放送 S ¥18,000 A ¥16,000 B ¥12,000 C ¥8,000 D ¥6,000 学生¥3,000(税込)
企画・運営:中京テレビ事業

お問合せお申込み 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

★WEBでも受付!★

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F(月~金 AM9:30~PM5:30 / 土日祝日休業)

中京テレビ事業 検索

ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込み下さい。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

http://cte.jp

※未就学児童のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。※プログラム内容等変更される場合がございます。予めご了承下さい。

チケットぴあ (Pコード:102-856) 0570-02-9999
愛知芸術文化センターPG 052-972-0430
ローソンチケット(Lコード:40720) 0570-084-004
イープラス eplus.jp
栄ブレチケ92(旧三越PG)、中日SC他、有名プレイガイド

初来日公演で10万人を動員した名門歌劇場が、総勢200名で引っ越し公演！ オペラ史上、最高のスペクタクル・ロマン！ 巨匠ヴェルディの「アイダ」。

今秋、「キエフ・オペラ」が待望の来日公演を果たす。初来日以来これほど頻りに来日公演を行っている歌劇場も類をみない。初来日で行った怒涛の全国60公演に続き、翌年すぐにオペラ4演目の連続上演、さらに次年のアンコール上演、そして今回の来日公演へと続いている。一度オペラを見たいと思っていたオペラ初心者も熱心なオペラ・ファンも、同様にこの歌劇場の魅力の虜になるのだろう。劇場は140年余の歴史を誇り、数多くの名演奏家を輩出したウクライナの高い芸術性を脈々と受け継いでいる。そして、それを体現した舞台に誰もが心を動かされる。今回の公演では、ヴェルディのオペラ『アイダ』を上演する。言わずと知れた、古代エジプトを舞台とした、スケールの大きなスペクタクルオペラの名作だ。

「キエフ・オペラ」の凄さは何と言ってもその迫力ある舞台だが、『アイダ』ほどこの歌劇場の実力を示すのに相応しい演目もない。豊かな声量の歌手と、重量感あふれるオーケストラの演奏、会場にいる観客は、内容の濃いオペラを見た満足な気持ちにさせられることは間違いがない。



『アイダ』には二つの「戦い」がある。ひとつはエジプト対エチオピアの「国の戦い」、そしてもうひとつは一人の英雄を挟んでの「女の戦い」。この二つの「戦い」が交差することが、この物語を面白くしている。「国の戦い」はエジプトが勝利し、有名な「凱旋の場」で華々しく描かれる。観客はここで合唱がつくり出す分厚い量感と四方に鳴り渡るトランペットに圧倒される。一方、「女の戦い」は、これは単なる愛情問題ではなく、人種や国家も絡んだ戦いでもある。奴隷となっているエチオピアの王女アイダと、エジプトの王女アムネリスが美しいアリアでその心情をぶつけ合う。オペラ『アイダ』はそのスケール感に目が行きがちだが、この心理劇の作り出す綾も面白いオペラである。全編に流れる、美しく時に激しい独唱、重唱、合唱、そしてドラマチックな演奏を聴かせるオーケストラだけでも素晴らしいが、「キエフ・バレエ」のダンサーたちが、艶かしく、時にセクシーなエジプトの踊りを随所で見せるのも、『アイダ』を印象深いものにしてている。「キエフ・オペラ」の『アイダ』の舞台は必見だ。



キエフ・オペラ (ウクライナ国立歌劇場オペラ)

ウクライナ国立歌劇場は、ボリショイ歌劇場、キーロフ・オペラ(現マリインスキー歌劇場)と並ぶ、旧ソ連邦の三大オペラ劇場として歴史的に重要な位置を占める劇場です。

1867年の劇場開幕当初よりレパートリーは幅広く、当初からロシアのオペラを上演すると共にイタリアやドイツのオペラも積極的に取りあげました。さらにウクライナの歴史を踏まえた「タラス・ブリーバ」や「コサック」なども次々と上演し、世界的な歌手がこの劇場に出演しています。またチャイコフスキーは、数多くの自作のキエフ初日公演に参加しこの劇場を讃えました。海外公演も数多く、ドイツ、オランダ、フランス、オーストリア、スイス、デンマーク、スペインなどヨーロッパ各地で公演を行い高く評価されています。

「アイダ」あらすじ

それぞれの祖国への想いと、一途な恋心が悲劇を生む

戦いの勝利に酔う古代エジプト。武将ラダメスは、美しい女奴隷のアイダと秘密の恋を育み、妻を迎える日を夢見ていた。戦いで勝利をもたらした凱旋帰国したラダメスは、栄光の頂点にいるのだった。ラダメスに惹かれる誇り高きエジプト王女アムネリスはアイダとの仲を疑い嫉妬する。

実は、アイダは身分を隠しているが敵国エチオピアの王女で、祖国の再興と捕えられた父の安全を願い、ラダメスに国を捨てるよう懇願する。ラダメスは苦悩するが国を捨てることは出来ない。しかし、恋心ゆえに知らずも軍事機密を漏らしたラダメスは、一転し国家の反逆者として地下牢に捕らえられ、死罪を宣告される。そして…

